

(様式) 令和4年度 第25回中学校2年次研修「授業づくり13」—授業研究報告—
実践レポート

学校名	立	学校	名前	
-----	---	----	----	--

※令和3年度初任者研修で一連のユニットから学んだことを反映させて、このレポートを作成し、実践した授業の学習指導案とともにステープラー留めして持参すること。また、評価に活用した生徒の成果物のコピーなどがあれば併せて持参すること。交流のため持参する部数については、各教科での指示を確認すること。

2) 実施内容 【 教科等 】 ()

授業を構想する力	
① 単元（題材）で育む生徒の姿（単元（題材）全体の学習によって、何をどこまで高めることをめざすのか）	
○単元（題材）の学びを通して引き出したい生徒の姿	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> 学習指導案の「単元（題材）の目標」をもとに、単元（題材）の学習を終えた時点でめざす生徒の姿を具体的に記載する。 </div>
* 学習指導要領との関連	
② 単元（題材）の学習評価（どう見取るのか）	
○単元（題材）の評価規準に基づいて工夫した学習活動のポイント	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> 「学習評価を生かした授業」を構想するにあたって、工夫したポイントをまとめる。 </div>
③ 授業デザイン（どのように学ぶか）	
○生徒に示す学習課題	<div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>
○生徒が主体的な学習を進めるための工夫や手だて	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> 学習指導案の「指導観」とも関連付けながら、生徒が主体的に学習を進めるための工夫や手だてを記載する。 </div>
○単元（題材）全体における本時の位置づけ	

授業を展開する力	
① 授業の実際	
○ 授業における生徒の様子等	<p>前項で挙げた「工夫や手だて」によって見られた生徒の様子、学びを深めるために行った支援等を具体的に記載する。</p>
② 評価したことに基づいた指導の手だての実際（個に応じた支援等）	<p>実際の授業の中で、評価したことに基づいて具体的にどのような支援をしたのかを記述。 ※個人情報の取り扱いについて十分配慮した記述に努めること。</p>
③ 単元（題材）の指導を終えた段階での生徒の変容	<p>変容が分かるような生徒の成果物等があれば、当日、コピー等を持参するとよい。</p>
授業を評価する力（今求められる資質・能力の育成、子ども主体の授業、学習評価を生かした授業の視点から）	
① 実践の成果と課題	
② 今後重点的に取り組むこと	

教員として必要とされる資質能力（OSAKA 教職スタンダードより）

10 授業を構想する力

- ・ 学習指導要領に基づいた子ども主体の学習指導案を作成することができる。
- ・ 教材を理解し、ねらいを明確にした単元の指導と評価の計画を立てるとともに、基礎基本の定着を図り、知識を活用する力〔思考力・判断力・表現力等〕を育む学習指導案を作成できる。
- ・ 学級の子どもの実態に応じて、板書計画や発問の仕方など、ユニバーサルデザインの観点に基づいた学習指導案を作成することができる。

11 授業を展開する力

- ・ 授業を行うための適切なスキル〔説明・指示・板書・発問等〕を身に付け、子どもの状況を把握しながら、単元や本時の目標を明確にし、授業を実践できる。
- ・ ユニバーサルデザインの観点に基づいて、すべての子どもにとってわかりやすい授業を実践できる。

12 授業を評価する力

- ・ 授業評価シート等を活用して授業の振り返りを行うことができる。
- ・ 他の教員の授業を観て自分の授業改善に努めることができる。
- ・ 他の教員から意見等を受けて授業改善に努めることができる。